

『中学校国語科』 模擬授業課題

(1) 日 時 令和7年〇月〇日 第〇校時(50分)			
(2) 場 所 2年A組教室			
(3) 学年・学級 第2学年A組(31名)		使用教科書 現代の国語 2 (三省堂)P.112～P.119	
(4) 単 元 名 枕草子・徒然草			
(5) 指導する児童(生徒)の状況			
【既習事項】 第1学年では、歴史的仮名遣いや現代と意味の異なる基本的な古語などについて学習し、古典の基礎的な事項の知識を身に付けるとともに、古典特有のリズムを味わいながら音読して、古典の世界に親しんできた。また、「竹取物語」の学習を通して、古人と現代の自分たちの思いには共通する部分があることも学習している。さらに、古典には様々な種類の作品があることも学習している。			
【単元のねらい】 ・言葉の意味を正確に捉えながら読み、描かれた情景や心情を想像すること。 ・自然や人間に対する、古人のものの見方や考え方を捉えること。 ・古人のものの見方や考え方について、現代の自分たちの知識や経験と結びつけて、考えたことを交流し、自分の考えを深めること。			
【児童(生徒)の状況】 古典特有のリズムを味わいながら音読する学習を第1学年から積み重ねてきており、歴史的仮名遣いについての理解は概ねできているが、定着している生徒とそうでない生徒との間に差がある。また、古典を読んで登場人物や作者の思い・考えを捉え、豊かに想像することはできるが、自分の知識や経験と結びつけ、考えを広げたり深めたりする活動には苦手意識を持っている。			
(6) 指導計画(全7時間)			
次(時数)	学習内容	活動・指導形態	評価計画
第一次 (1時間)	○単元のねらいを確認し、学習の見通しをもつ。 ○「枕草子・徒然草」の解説(P.112)を読み、それぞれの作品について知る。 ○全文を通読し、注意する語句や新出漢字、歴史的仮名遣いの読み方や係り結びについて確認する。	一斉 個別 班又はペア	知識・技能
第二次 (1時間)	○「春はあけぼの」(P.112～P.113)の表現やリズムを捉え、読み味わう。 ○「春はあけぼの」(P.112～P.113)に表れている、筆者のものの見方や考え方を捉える。	一斉 個別 班又はペア	知識・技能 思考・判断・表現
第二次 (1時間)	○「うつくしきもの」(P.114)の表現やリズムを捉え、読み味わう。 ○「うつくしきもの」(P.114)に表れている、筆者のものの見方や考え方を捉える。	一斉 個別 班又はペア	知識・技能 思考・判断・表現
第二次 (1時間)	○前時までの学習を踏まえ、P.118 のQRコードを利用して「枕草子」の他の章段を読み、好きな章段を選んで紹介し合う。 ○「つれづれなるままに」(P.115)を読み、「徒然草」の筆者の人物像や作品の特徴、「枕草子」の作品世界との違いをつかむ。	一斉 個別 班又はペア	知識・技能 思考・判断・表現
第二次 (1時間)	○「仁和寺にある法師」(P.116)の表現やリズムを捉え、読み味わう。 ○「仁和寺にある法師」(P.116)に表れている、筆者のものの見方や考え方を捉える。	一斉 個別 班又はペア	知識・技能 思考・判断・表現
第二次 (1時間)	○「ある人、弓射ることを習ふに」(P.117)の表現やリズムを捉え、読み味わう。 ○「ある人、弓射ることを習ふに」(P.117)に表れている、筆者のものの見方や考え方を捉える。	一斉 個別 班又はペア	知識・技能 思考・判断・表現
第三次 (1時間)	○前時までの学習を踏まえ、P.118 のQRコードを利用して「徒然草」の他の章段を読み、好きな章段を選んで紹介し合う。 ○これまでの学習で捉えてきた古人のものの見方や考え方について、現代の自分たちと比較して考えたことをまとめ、交流する。 ○単元の振り返りをする。	一斉 個別 班又はペア	思考・判断・表現 主体的に学習に取り組む態度

●面接終了後、メモ用紙とともにクリアファイルに入れて提出してください。

『中学校国語科』 模擬授業課題

(1) 日 時 令和7年〇月〇日 第〇校時(50分)

(2) 場 所 2年A組教室

(3) 学年・学級 第2学年A組(31名)

使用教科書 現代の国語 2 (三省堂)P.112～P.119

(4) 単 元 名 枕草子・徒然草

(5) 指導する児童(生徒)の状況

【既習事項】

第1学年では、歴史的仮名遣いや現代と意味の異なる基本的な古語などについて学習し、古典の基礎的な事項の知識を身に付けるとともに、古典特有のリズムを味わいながら音読して、古典の世界に親しんできた。また、「竹取物語」の学習を通して、古人と現代の自分たちの思いには共通する部分があることも学習している。さらに、古典には様々な種類の作品があることも学習している。

【単元のねらい】

- ・言葉の意味を正確に捉えながら読み、描かれた情景や心情を想像すること。
- ・自然や人間に対する、古人のものの見方や考え方を捉えること。
- ・古人のものの見方や考え方について、現代の自分たちの知識や経験と結びつけて、考えたことを交流し、自分の考えを深めること。

【児童(生徒)の状況】

古典特有のリズムを味わいながら音読する学習を第1学年から積み重ねてきており、歴史的仮名遣いについての理解は概ねできているが、定着している生徒とそうでない生徒との間に差がある。また、古典を読んで登場人物や作者の思い・考えを捉え、豊かに想像することはできるが、自分の知識や経験と結びつけ、考えを広げたり深めたりする活動には苦手意識を持っている。

(6) 指導計画(全7時間)

次(時数)	学習内容	活動・指導形態	評価計画
第一次 (1時間)	○単元のねらいを確認し、学習の見通しをもつ。 ○「枕草子・徒然草」の解説(P.112)を読み、それぞれの作品について知る。 ○全文を通読し、注意する語句や新出漢字、歴史的仮名遣いの読み方や係り結びについて確認する。	一斉 個別 班又はペア	知識・技能
第二次 (1時間) (1時間)本時	○「春はあけぼの」(P.112～P.113)の表現やリズムを捉え、読み味わう。 ○「春はあけぼの」(P.112～P.113)に表れている、筆者のものの見方や考え方を捉える。	一斉 個別 班又はペア	知識・技能 思考・判断・表現
	○「うつくしきもの」(P.114)の表現やリズムを捉え、読み味わう。 ○「うつくしきもの」(P.114)に表れている、筆者のものの見方や考え方を捉える。	一斉 個別 班又はペア	知識・技能 思考・判断・表現
	○前時までの学習を踏まえ、P.118のQRコードを利用して「枕草子」の他の章段を読み、好きな章段を選んで紹介し合う。 ○「つれづれなるままに」(P.115)を読み、「徒然草」の筆者の人物像や作品の特徴、「枕草子」の作品世界との違いをつかむ。	一斉 個別 班又はペア	知識・技能 思考・判断・表現
	○「仁和寺にある法師」(P.116)の表現やリズムを捉え、読み味わう。 ○「仁和寺にある法師」(P.116)に表れている、筆者のものの見方や考え方を捉える。	一斉 個別 班又はペア	知識・技能 思考・判断・表現
	○「ある人、弓射ることを習ふに」(P.117)の表現やリズムを捉え、読み味わう。 ○「ある人、弓射ることを習ふに」(P.117)に表れている、筆者のものの見方や考え方を捉える。	一斉 個別 班又はペア	知識・技能 思考・判断・表現
第三次 (1時間)	○前時までの学習を踏まえ、P.118のQRコードを利用して「徒然草」の他の章段を読み、好きな章段を選んで紹介し合う。 ○これまでの学習で捉えてきた古人のものの見方や考え方について、現代の自分たちと比較して考えたことをまとめ、交流する。 ○単元の振り返りをする。	一斉 個別 班又はペア	思考・判断・表現 主体的に学習に取り組む態度

●面接終了後、メモ用紙とともにクリアファイルに入れて提出してください。

●面接終了後、メモ用紙とともにクリアファイルに入れて提出してください。